

夢のリテラシー教育

1 班 企画立案

はじめに

- 自館の問題点を洗い出し
 - 学生が満足できる
内容と構成が重要

学生の満足とは

見たい本が
探せた!



テーマが
みつかった!



情報リテラシーの習得

「〇〇ができる」

資料の場所がわかる

貸出返却ができる

Web情報をうまく使える

資料種別がわかる

OPACが使える

他館が使える

テーマ設定ができる

レポートや論文が書ける

資料の優先順位をつけられる

データベースの検索ができる

わかったこと

- とにかく多い

→ 1回の講習では入りきらない

わかったこと

- 指導内容は段階別にできる

→ 講習会の構成が必要

段階

- 入門
貸出・返却 請求記号・所在
図書館の施設 図書館職員を使う
- 初級
WEBサービス OPAC 他館 LL 資料の特性
- 中級
調査方法 キーワード 検索エンジン・ネット
DB 主体性
- 上級
レポート 論文 テーマ 書き方・ルール
資料の読み方、整理、優先順位、重要度

目標

- レファレンスサポートが要らない学生
- レファレンス支援する側になれる学生

実施に向けて

各館で考えた

共通のポイント

- **分量**

つめ込み過ぎない

- **誘導**

「図書館があるよ」 「図書館にきてね」

- **連携**

図書館だけで完結しない

まとめ

- 俯瞰と具体化
- 取捨選択